令和7年度事業報告書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

特定非営利活動法人　野生動物救護獣医師協会

1. 事業の成果

令和7年度は、これまでに引き続き、傷病野生鳥獣の保護治療活動や生物多様性の保全等に関わる諸活動を実施するとともに、野生鳥獣の救護に関する講習会の開催や、関係団体等が主催するイベントとの連携による教育普及活動を展開することができた。また、新たに現在世界的な環境問題として注目をあびている、「プラスチックゴミ対策」に関わる講習会も実施した。

本会の主な活動の柱となっている油汚染鳥救護の分野等においても、環境省の請負事業を始めとする各種研修会の開催を通して、専門的な知識や技術を関係各位に伝えることができた。また、本会関係者を、各方面の求めに応じて講師として派遣するなど、対応技術等の伝達、および啓発・広報活動等を実践し、一定の成果を上げることができた。

なお、高齢化や定年、あるいは病院の閉鎖や引退等を理由とする退会により、会員の減少傾向に歯止めが掛からず、一方で物価高や税の負担等を含めた経済的状況など、厳しい環境下に置かれてはいるが、その中でも何らかの活路を見出しつつ、次年度の新たな発展を期して、積極的な事業展開を目指していきたいと考えている。

2. 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1)傷病野生動物の救護と野生復帰	①正会員病院による傷病野生鳥獣の保護治療	年間	正会員病院事務局	80名	不特定多数	952
	②人災事故等による緊急救護活動 a)北海道函館市恵山岬付近の岩場で、タンカーの座礁事故による油流出事故が発生。乗組員がオイルフェンスを設置するなどして対応。特に 、野生生物等への被害は確認されなかった。	1月7日	立川 日野	2名		
	b)イギリス沖の北海において、ジェット燃料を積んだアメリカ船籍のタンカーとポルトガル船籍の貨物船が衝突し、双方の船が炎上の上、油が流出。ただし、野生生物への被害情報は得られず、具体的な対応に関する要請もなかった。	3月10日	立川 日野	2名		
	c)香川県高松市福岡町を流れる詰田川の河口付近に係留中の小型船が沈みかかり、燃料の軽油が約600mの渡って流出。地元消防隊がオイルフェンスを張って対応。野生生物等への被害は、確認されなかった。	6月28日	日野	1名		
	d)福岡県北九州市の響灘ビオトープが油で汚染され、付近でアオサギが目撃されたが、被害の発生については確認できなかった。	9月8日	日野	1名		
	e)静岡県下田市須崎において、船舶の座礁による軽油の流出事故が発生。海上保安庁が、油吸着マットの設置等を行って対応。しかし油の一部が外部に漏れだし、須崎の磯から爪木崎の方面まで広がる。野生生物等への具体的な被害は確認されなかった。	11月24日	立川 日野	2名		
	③「ヒナを拾わないで」キャンペーン (公財)日本野鳥の会、(公財)日本鳥類保護連盟、WRVによる三団体協賛事業(ポスター約11万枚作成) ・環境省後援事業 ・協賛企業、団体への呼びかけ ・ポスター作成、配布(WRV分約40,000枚) ・会員、獣医師会、諸団体、協賛企業等への無償配布 ・研修会や講習会における配布	1月、2月	事務局 事務局 事務局	3名 3名 3名	不特定多数	
(2)病性鑑定及び疫学調査	①カルテの集約 ・各地の関係病院から	年間	事務局	2名	不特定多数	0
	②調査研究					
(3)学会報告、会報、シンポジウム、講習会、ホームページ等情報や技術の伝達・交流に必要な活動	①会報発行(4回) 担当:[redacted]	年間	事務局	3名	会員 関係諸団体	8801
	②ホームページ維持管理 担当:[redacted]	年間	理事病院 事務局	2名	不特定多数	
	③メーリングリスト維持管理 担当:[redacted]	年間	理事病院 事務局	2名	WRV 登録者	
	④記録集の無償配布 ・講習会や実習、イベント等で配布 担当:[redacted]	年間	事務局	2名	随時	
	⑤学術講習会 a)油汚染鳥救護講習会 ・東京環境工科専門学校油汚染水鳥救護実習 講師:[redacted] ・日本獣医生命科学大学獣医学科野鳥・水鳥救護実習 講師:[redacted] ・プラスチックゴミ対策に関する講習会(東京都支部・神奈川支部協力) 対応:[redacted]	10月6日 10月7日 8月26日 8月28、29日 3月15日	東京 日野 日野 日野	1名 3名 4名 2名	専門学生 専門学生 大学生 地元住民等	
	⑥行政、諸団体への講師派遣等 a)野生動物リハビリテーター養成講習会 ・神奈川県野生動物リハビリテーター養成講習会 派遣講師:[redacted] b)帝京科学大学アニマルサイエンス学科救護実習 派遣講師:[redacted] c)帝京科学大学アニマルサイエンス学科油汚染鳥救護実習 講師:[redacted]	11月23日 11月30日 7月7日～9日 7月14日～16日 7月10日・17日	神奈川 上野原 日野	4名 2名 3名	リハビリテーター 約30名 大学生 大学生	

	d)帝京科学大学・アニマルサイエンストピック 派遣講師:[redacted]	4月25日	千住	1名	大学生	
	⑦研修会等業務委託 水鳥救護研修センター業務委託事業(環境省自然環境局)	年間		4名	環境省	
	a)令和6年度委託事業	1月～3月	日野			
	担当:[redacted] ・情報収集ならびに提供 ・会場使用管理					
	・現地研修会(京都府京都市・京都市国際交流会館)	1月22日	京都	4名	10名	
	講師[redacted]					
	・報告書作成　担当:[redacted]	3月	日野	3名		
	・報告書提出	3月31日		2名		
	b)令和7年度委託事業	4月～12月	日野			
	担当:[redacted] ・情報収集ならびに提供 ・会場使用管理					
	・研修会					
	第1回講師:[redacted]	10月2日、3日	日野	5名	13名	
	第2回講師:[redacted]	11月11日、12日	日野	6名	11名	
	第3回講師:[redacted]	12月24日、25日	日野	7名	25名	
	・運営協議会 対応:[redacted]	6月23日	日野	3名	環境省、WRV 関係諸団体	
(4)野生動物の傷病・予防等に関すること	①「油汚染水鳥救護専門家協議会」運営	随時	事務局	2名	WRV	0
	②内外関係者との協議、会合への出席及び事業への協力等					
	a)神奈川県鳥獣総合対策協議会(万世橋会議センター) 対応:[redacted]	3月17日	神奈川	1名	関係者等	
	b)傷病野生鳥獣保護治療状況確認(※東京都獣医師会・書面) 対応:[redacted]	7月4日	東京	1名	関係者等	
(5)生物多様性の保全に関する事	①内外関係者との協議、会合への出席及び事業への協力等	年間	東京	8名	WRV	7
	a)ぐんまの自然の「いま」を伝える特別展・報告会(自然史博物館) 対応:[redacted]	1月18日	群馬	1名	関係者等	
	b)神奈川県鳥獣総合対策協議会シカ対策専門部会(万世橋会議ｾﾝﾀｰ) 出席:[redacted]	3月10日	神奈川	1名	関係者等	
	c)第24回さがみ自然フォーラム(パネル展示) 対応:[redacted]	2月6～11日	神奈川	1名	関係者等	
	d)奈良のシカ保護管理計画検討委員会(鹿苑) 対応:[redacted]	1月7日	奈良	1名	関係者等	
	e)山梨県アライグマ捕獲従事者養成講習会(山梨県庁防災新館) 出席:[redacted]	10月2日、10月23日	山梨	1名	関係者等	
	f)東京都外来鳥獣防除対策検討委員会・作業部会(オンライン) 出席:[redacted]	2月20日、7月15日 9月2日	東京	1名	関係者等	
	g)令和7年度日本コウノトリの会・総会(オンライン) 対応:[redacted]	6月7日	豊岡	1名	関係者等	
	h)名栗川水流研修会(大鳩圏上名栗) 対応[redacted]	8月16日	飯能	1名	関係者等	
	i)埼玉県農業技術研究センター・試験研究成果発表会(オンライン) 出席:[redacted]	2月3日	埼玉	1名	関係者等	
	j)藤岡市認定農業者連絡協議会地域リーダー育成研修 出席:(講師)[redacted]	11月21日	群馬	1名	関係者等	
	k)生物多様性セミナー(川崎市夢見ヶ崎動物公園) 対応:[redacted]	9月23日	神奈川	1名	関係者等	
	l)第21回爬虫類・両生類の臨床と病理のための研究会・ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 対応:(講師)[redacted]	12月1日	東京	1名	関係者等	
	m)第11回稲城市ふれあい健康医療まつり 対応:[redacted]	10月5日	東京	1名	関係者等	
	n)「動物の安楽死を考える」公開シンポジウム(法獣医学会・オンライン) 対応:[redacted]	12月6日	東京	1名	関係者等	
	o)SFTS(重症熱性血小板減少症候群)を学ぶ研修会(オンライン) 対応:[redacted]	11月4日	東京	1名	関係者等	
	p)ふじさわ環境フェア(藤沢市民会館・前庭) 対応:[redacted]	11月15日	神奈川	1名	関係者等	

(6)野生動物の救護施設に関	①犬猫・野生動物救護センター、自然環境アカデミー、 各地動物園等の救護施設との連携 ②ニュースレターにおける施設(活動)紹介	年間	東京	2名	WRV	27
(7)他団体との交流	①日本環境災害情報センター(理事団体) 担当:[redacted]	年間	東京	1名	関係団体	162
	②国内組織との連携 a)日本獣医師会 b)野生動物救護研究会 c)東京都獣医師会 d)各種団体等との連絡協議 日本野鳥の会、日本鳥類保護連盟、WWF-J、日本海難防止協会、 日本動物愛護協会、 日本動物福祉協会、日本愛玩動物協会、 日本動物病院協会、日本動物園水族館協会、日本獣医師連盟、 動物臨床医学研究所、動物臨床医学会、日本野生動物医学会、 日本臨床獣医学フォーラム、日本小動物獣医師会、 犬猫・野生動物救護センター、自然環境アカデミー、 海上災害防止センター、JICA、全国の各獣医師会、 各都道府県、環境省、海上保安庁、日本動物看護学会、 日本獣医生命科学大学、帝京科学大学、東京環境工科専門学校、 全国学校飼育動物獣医師連絡協議会、野生動物リハビリテーター協会、 猛禽類医学研究所、全国愛鳥教育研究会、日本コウノトリの会、 爬虫類と両生類の臨床と病理のための研究会	年間 年間		 7名	WRV WRV	
	③国際機関との連携 IUCN、IWRB、IBRRC、OWCN、IFAW、Bird Life International、 NOWPAP MERRAC	年間		2名	WRV 関係団体	
	④国内組織との交流や親睦	年間				
	a)「人と動物のワンヘルス」東京都医師会・東京都獣医師会合同講習会 対応:[redacted]	2月18日	東京	3名	獣医師等	
	b)TMC災害研究会(京王プラザホテル) 出席:[redacted]	2月26日	東京	1名	関係者等	
	c)東京都獣医師連盟監査会及び常任委員会 対応:[redacted]	1月9日	東京	3名	獣医師等	
	d)日本獣医師連盟役員会・総会(仙台国際センター) 出席:[redacted]	1月24日	仙台	1名	獣医師等	
	e)全国愛鳥教育研究会役員会 対応:[redacted]	7月21日	東京	1名	関係者等	
	f)第72回日本生態学会大会(オンライン併用) 対応:[redacted]	3月15日～18日	札幌	1名	学会関係者	
	g)(NPO)丹沢自然保護協会 植樹 出席:[redacted]	4月24日、10月25日	神奈川	1名	関係者等	
	h)東京都獣医師会 南多摩支部総会 出席:[redacted]	5月8日	立川	3名	獣医師会	
	i)練馬区獣医師会 定時総会 出席:[redacted]	3月26日	練馬	3名	獣医師会	
	j)日本野生動物医学会30周年記念シンポジウム(日獣大) 対応:[redacted]	6月21日	東京	5名	学会関係者	
	k)獣医疫学会理事・幹事会(オンライン) 出席:[redacted]	2月16日、12月5日	東京	1名	学会関係者	
	l)日本野生動物医学会理事会 出席:[redacted]	3月30日、6月21日	東京	1名	学会関係者	
	m)東京都獣医師会第14回定時総会 出席:[redacted]	6月8日	東京	3名	獣医師等	
	n)第82回日本獣医師会通常総会(明治記念館) 出席:[redacted]	6月25日	東京	3名	獣医師等	
	o)東京都獣医師会理事会 出席:[redacted]	3月11日、7月28日 10月6日、12月19日	東京	3名	獣医師等	
	p)日本獣医学会定時総会(オンライン) 対応:[redacted]	9月30日	東京	1名	学会関係者	
	q)第168回日本獣医学会 学術集会(シーガイアコンベンションセンター) 出席:[redacted]	9月3日～5日	宮崎	1名	学会関係者	
	r)2025動物感謝デー in Japan (資料配布) 対応:[redacted]	11月15日	東京	1名	関係者等	
	s)第65回獣医疫学会学術集会(日獣大) 対応:[redacted]	3月9日	東京	1名	学会関係者	

	t)第31回日本野生動物医学会大会 出席：[redacted]	9月26日～28日	盛岡	3名	学会関係者	
	u)金沢動物園 Zoo To Wild Fes Autumn 対応：[redacted]	11月1日～3日	神奈川	1名	関係者等	
	v)第30回「野生生物と社会」学会大会（早稲田大） 出席：[redacted]	12月20日～21日	東京	1名	学会関係者	
	w)第46回動物臨床医学会年次大会 出席：[redacted]	10月18日～19日	大阪	2名	学会関係者	
	x)第25回「野生生物と交通」シンポジウム（オンライン併用） 出席：[redacted]	11月21日	札幌	1名	関係者等	
	y)ジャパンバードフェスティバル2025 対応：[redacted]	11月1日～2日	我孫子	2名	関係者等	
(8)事務局	①理事会開催 出席：[redacted] オブザーバー[redacted]	随時	インターネット	10名	WRV	590
	②令和6年度事業監査（一部郵送） 出席：[redacted]	2月28日	事務所	5名	WRV	
	③令和7年度総会 出席：[redacted]	4月13日	事務所	8名	WRV	
	⑤傷病野生鳥獣相談 ・電話相談 ・インターネット（HP）相談	随時	事務所、日野理事病院等		不特定多数	
	⑥会員管理	随時	事務所		WRV	

(2)収益事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
販売事業	野鳥の救護マニュアル販売 「野鳥をたすけるはじめの一歩」	随時	事務局	1名	行政 一般	22

令和7年度 活動計算書

令和 7年 1月 1日 より 令和 7年12月31日 まで

特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

（単位： 円）

科目・事業	特定非営利活動に 係る事業	その他事業	合計
Ⅰ 経常収益			
1 年会費収入	736,000	－	736,000
正会員	504,000	－	504,000
ボランティア会員	102,000	－	102,000
賛助会員	130,000	－	130,000
認定会員	－	－	－
2 事業収入	430,000	－	430,000
講習会事業	－	－	－
会報発行事業	－	－	－
P&G油講習会事業	－	－	－
ヒナキャンペーン事業	430,000	－	430,000
3 委託事業収入	8,571,658	－	8,571,658
水鳥救護研修センター 業務委託	8,571,658	－	8,571,658
油汚染対策推進研修 業務委託	－	－	－
その他委託事業	－	－	－
4 補助金収入	－	－	－
5 寄付金収入	17,000	－	17,000
一般寄付金	17,000	－	17,000
一般救護活動寄付金	－	－	－
油汚染救護活動寄付金	－	－	－
6 収益事業／図書販売収入	－	304,830	304,830
7 預金利息	7,401	3,042	10,443
8 雑収入	－	－	－
経常収益 計	9,762,059	307,872	10,069,931
Ⅱ 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,687,660	－	3,687,660
法定福利費	438,094	－	438,094
福利厚生費	11,970	－	11,970
人件費 計	4,137,724	－	4,137,724
(2) その他経費			
製品原価	－	18,300	18,300
諸謝金	831,110	－	831,110
旅費交通費	277,120	－	277,120
通信費	79,361	－	79,361
消耗品費	267,356	－	267,356
印刷製本費	776,949	－	776,949
賃借料	46,030	－	46,030
事務用品費	11,672	－	11,672
会議費	28,000	－	28,000
文献資料費	－	－	－
租税公課	10,000	－	10,000
水道光熱費	－	－	－
運搬費	232,937	3,530	236,467
諸会費	40,000	－	40,000
支払手数料	－	－	－
家賃地代	－	－	－
研究開発費	－	－	－
寄付金	－	－	－
講習研修費	334,600	－	334,600
修繕費	－	－	－
支払報酬	－	－	－
雑費	45,166	－	45,166
その他経費 計	2,980,301	21,830	3,002,131
事業費 計	7,118,025	21,830	7,139,855

1 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	540,000	-	540,000
法定福利費	-	-	-
福利厚生費	965	-	965
人件費 計	540,965	-	540,965
(2) その他経費			
製品原価	-	-	-
諸謝金	-	-	-
旅費交通費	64,880	-	64,880
通信費	329,154	-	329,154
消耗品費	10,983	-	10,983
印刷製本費	58,388	-	58,388
賃借料	285,120	-	285,120
事務用品費	360,279	-	360,279
会議費	20,037	-	20,037
文献資料費	-	-	-
租税公課	588,251	-	588,251
水道光熱費	89,745	-	89,745
運搬費	9,450	-	9,450
諸会費	20,000	-	20,000
支払手数料	43,340	-	43,340
家賃地代	1,020,000	-	1,020,000
研究開発費	-	-	-
寄付金	-	-	-
講習研修費	-	-	-
修繕費	-	-	-
保険料	-	-	-
支払報酬	735,900	-	735,900
雑費	17,710		17,710
その他経費 計	3,653,237	-	3,653,237
管理費 計	4,194,202	-	4,194,202
経常費用 計	11,312,227	21,830	11,334,057
当期経常増減額	-1,550,168	286,042	-1,264,126
Ⅲ 経常外収益	-	-	-
Ⅳ 経常外費用	-	-	-
経理区分振替額	-	-	-
税引前当期正味財産増減額			-1,264,126
法人税、住民税及び事業税			70,000
税引後当期正味財産増減額			-1,334,126
前期繰越正味財産額			37,009,236
次期繰越正味財産額			35,675,110

令和7年度 活動計算書

令和7年1月1日より令和7年12月31日まで

特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師会 東京都支部

（単位： 円）

科目・事業	特定非営利活動に 係る事業	その他事業	合計
Ⅰ 経常収益			
1 年会費収入	－	－	－
正会員	－	－	－
ボランティア会員	－	－	－
賛助会員	－	－	－
認定会員	－	－	－
2 事業収入	－	－	－
講習会事業	－	－	－
会報発行事業	－	－	－
P&G油講習会事業	－	－	－
ヒナキャンペーン事業	－	－	－
3 委託事業収入	887,000	－	887,000
水鳥救護研修センター 業務委託	－	－	－
油汚染対策推進研修 業務委託	－	－	－
その他委託事業	887,000	－	887,000
4 補助金収入	－	－	－
5 寄付金収入	－	－	－
一般寄付金	－	－	－
一般救護活動寄付金	－	－	－
油汚染救護活動寄付金	－	－	－
6 収益事業／図書販売収入	－	－	－
7 預金利息	5,064	－	5,064
8 雑収入	－	－	－
経常収益 計	892,064	－	892,064
Ⅱ 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	－	－	－
法定福利費	－	－	－
福利厚生費	－	－	－
人件費 計	－	－	－
(2) その他経費			
製品原価	－	－	－
諸謝金	599,000	－	599,000
旅費交通費	－	－	－
通信費	－	－	－
消耗品費	－	－	－
印刷製本費	－	－	－
賃借料	－	－	－
事務用品費	－	－	－
会議費	－	－	－
文献資料費	－	－	－
租税公課	－	－	－
水道光熱費	－	－	－
運搬費	－	－	－
諸会費	－	－	－
支払手数料	－	－	－
家賃地代	－	－	－
研究開発費	－	－	－
寄付金	－	－	－
講習研修費	－	－	－
修繕費	－	－	－
保険料	－	－	－
雑費	－	－	－
その他経費 計	599,000	－	599,000
事業費 計	599,000	－	599,000

1 管理費			-
(1) 人件費			-
給料手当	60,000	-	60,000
法定福利費	-	-	-
福利厚生費	-	-	-
人件費 計	60,000	-	60,000
(2) その他経費			-
製品原価	-	-	-
諸謝金	-	-	-
旅費交通費	-	-	-
通信費	-	-	-
消耗品費	-	-	-
印刷製本費	-	-	-
賃借料	-	-	-
事務用品費	-	-	-
会議費	-	-	-
文献資料費	-	-	-
租税公課	-	-	-
水道光熱費	-	-	-
運搬費	-	-	-
諸会費	-	-	-
支払手数料	3,820	-	3,820
家賃地代	120,000	-	120,000
研究開発費	-	-	-
寄付金	-	-	-
講習研修費	-	-	-
修繕費	-	-	-
保険料	-	-	-
雑費	-	-	-
その他経費 計	123,820	-	123,820
管理費 計	183,820	-	183,820
経常費用 計	782,820	-	782,820
当期経常増減額	109,244	-	109,244
Ⅲ 経常外収益	-	-	-
Ⅳ 経常外費用	-	-	109,244
経理区分振替額	-	-	-
税引前当期正味財産増減額			109,244
法人税、住民税及び事業税			-
税引後当期正味財産増減額			109,244
前期繰越正味財産額			2,284,176
次期繰越正味財産額			2,393,420

書式第１３号（法第２８条関係）

令和 7年度　活動計算書

令和　7年　1月　1日から　令和　7年　12月　31日まで

特定非営利活動法人　野生動物救護獣医師協会神奈川支部

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
正会員受取会費			
賛助会員受取会費			
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ会員受取会費		0	
2　受取寄附金			
受取寄附金	4,800	4,800	
3　受取助成金等			
受取補助金	50,000	50,000	
4　事業収益			
事業収益	2,719,800	2,719,800	
5　その他収益			
受取利息	1,385		
雑収入	0	1,385	
経常収益計			2,775,985
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
諸謝金	715,000		
旅費交通費	302,440		
通信費	302,293		
消耗品費	62,692		
印刷製本費	276,700		
賃借料	551,400		
事務消耗品費	140,165		
会議費	3,627		
運搬費	840		
水道光熱費	62,873		
支払手数料	145,813		
保険料	74,200		
その他経費計	2,638,043		
事業費計		2,638,043	
2　管理費			
管理費計		0	
経常費用計			2,638,043
当期経常増減額			137,942
税引前当期正味財産増減額			137,942
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			137,942
前期繰越正味財産額			2,093,137
次期繰越正味財産額			2,231,079

令和 7年度 貸借対照表

令和７年１２月３１日現在

特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

（単位：円）

科　　目	金	額	
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現　　金	58,974		
小口現金	40,635		
普通預金	10,215,685		
郵便局	9,323,528		
定期預金	14,000,000		
未収金	2,892,745		
立替金	2,003,802		
流動資産合計		38,535,369	
2. 棚卸資産			
事業商品	1,579,190		
棚卸資産合計		1,579,190	
3. 特定資産			
財団設立準備基金	3,816,965		
		3,816,965	
資　産　合　計			43,931,524
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,902,019		
前受金	0		
預り金	72,996		
仮受金	0		
未払法人税等	70,000		
未払消費税等	586,900		
流動負債合計		3,631,915	
負　債　合　計			3,631,915
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		41,386,549	
当期正味財産増減額		-1,086,940	
正味財産合計			40,299,609
負債及び正味財産合計			43,931,524

令和7年度　計算書類の注記

特定非営利活動法人　野生動物救護獣医師協会

1. 重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法
該当事項ありません

(2)引当金の計上基準
該当事項ありません

(3)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当事項ありません

(4)消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

活動計算書内訳表を参照

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳
該当事項ありません

4. 使途等が制約された寄付金等の内訳
該当事項ありません

5. 固定資産の増減内訳

		期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
特定資産							
財団設立準備資産							
定期預金		3,810,000			3,810,000		3,810,000
普通預金		6,891	74		6,965		6,965
合計		3,816,891	74		3,816,965		3,816,965

6. 借入金の増減内訳
該当事項ありません

7. 役員及びその近親者との取引の内容
該当事項ありません

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法
各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当、福利厚生費旅費交通費及び支払家賃については従事割合に基づき按分しています。

令和7年度　財産目録

令和７年１２月３１日現在

特定非営利活動法人　野生動物救護獣医師協会

（単位：円）

科　　目	金	額	
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金	58,974		
小口現金	40,635		
郵便局(一般) 富士見郵便局	8,097,301		
郵便局(人災募金)　同上	5,237		
郵便局(旧人災募金) 同上	0		
郵便局(油汚染募金) 同上	0		
郵便局(救護ｾﾝﾀｰ募金) 同上	0		
郵便局(神奈川支部) 大和郵便局	1,220,990		
普通預金(一般) 三井住友銀行立川支店	3,669,351		
普通預金(東京都支部)三井住友銀行立川支店	4,397,222		
普通預金(事業口用)　同上	308,328		
普通預金(助成金用)　同上	2,579		
普通預金(事業商品用)　同上	0		
普通預金(神奈川支部) 横浜銀行大和支店	1,838,205		
定期預金　三井住友銀行立川支店	14,000,000		
未収金			
令和7年度水鳥救護研修ｾﾝﾀｰ委託金収入	2,824,545		
神奈川支部(事業収入)	68,200		
東京都支部会計立替金	2,003,802		
神奈川支部会計立替金	0		
流動資産合計		38,535,369	
2. 棚卸資産			
事業商品　記録集2(0冊)	0		
記録集3(245冊)	245,000		
記録集4(135冊)	202,500		
記録集5(370冊)	370,000		
記録集6(545冊)	545,000		
記録集7(55冊)	110,000		
鉛中毒ビデオ(0本)	0		
鉛中毒小冊子(0冊)	0		
水鳥救護マニュアル(0冊)	0		
収益事業			
ヒナマニュアル(583冊)	106,690		
棚卸資産合計		1,579,190	
3. 特定資産			
財団設立準備基金			
定期預金　三井住友銀行立川支店	3,810,000		
普通預金　三井住友銀行立川支店	6,965		
特定資産合計		3,816,965	
資　産　合　計			43,931,524
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,902,019		
前受金	0		
預り金			
源泉所得税預り金	72,996		
住民税預かり金	0		
仮受金	0		
未払法人税等	70,000		
未払消費税等	586,900		
流動負債合計		3,631,915	
負　債　合　計			3,631,915
正　味　財　産			40,299,609

令和7年度役員名簿及び
名簿のうち前年において報酬を受けたことがある者の名簿

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

特定非営利活動法人　野生動物救護獣医師協会

役　名	（フリガナ） 氏名	[redacted]	就任期間	報酬を受けた 期　間
理事	ｵｵｸﾎﾞ ﾀｹﾋｺ 大窪　武彦		R7.1.1～ R7.12.31	無し
理事	ｺﾏﾂ ﾔｽｼ 小松　泰史		R7.1.1～ R7.12.31	無し
理事	ﾀﾑｶｲ ｹﾝｲﾁ 田向　健一		R7.1.1～ R7.12.31	無し
理事	ﾅｶﾂ ｽｽﾑ 中津　賞		R7.1.1～ R7.12.31	無し
理事	ﾆｲﾂﾞﾏ ｲｻｵ 新妻　勲夫		R7.1.1～ R7.12.31	無し
理事	ｶﾄｳ ﾀｸﾔ 加藤　卓也		R7.1.1～ R7.12.31	無し
理事	ｺﾔﾏ ﾏｻﾄ 小山　正人		R7.1.1～ R7.12.31	無し
理事	ﾅｶｶﾞﾜ ｷﾖｼ 中川　清志		R7.1.1～ R7.12.31	無し
監事	ﾏﾁﾀﾞ ﾀﾀﾞﾋｺ 町田　忠彦		R7.1.1～ R7.12.31	無し
監事	ﾀｶﾊｼ ﾂﾈﾋｺ 高橋　恒彦		R7.1.1～ R7.12.31	無し

社員のうち10名以上の者の名簿

特定非営利活動法人　野生動物救護獣医師協会

令和7年12月31日現在

	氏名
1	石橋　徹
2	大窪　武彦
3	中川　清志
4	小松　泰史
5	田向　健一
6	中津　賞
7	新妻　勲夫
8	加藤　卓也
9	小山　正人
10	皆川　康雄